

日本計算工学会

「機械学習の工学問題適用に関する研究会」

第3回研究会議事録

日 時： 2020年5月14日(木) 13:30～15:30

場 所： zoomによるオンライン会議

出席者： 和田義孝(近畿大学), 中林靖(東洋大学), 三好昭生(株式会社インサイト), 荻野正雄(大同大学), 荒井皓一郎(MSC Software 株式会社), 橋本篤人(AGC 株式会社), 大石篤哉(徳島大学), 望月祐志(立教大学), 河合浩志(東洋大学), 大崎純(京都大学), 三目直登(東京大学), 坂口智也(NTN 株式会社), 白窪清隆(NTN 株式会社), 塩谷隆二(東洋大学), 片桐孝洋(名古屋大学), 塚原隆裕(東京理科大学), 山下拓三(防災科研), 岡田裕(東京理科大学), 増田正人(東京大学), 大野恭弘(東京理科大学), 以上20名(zoom表示順)

荻野正雄幹事(大同大学)が司会者となり, 下記の項目について議論を行った.

1) 開会挨拶 (和田義孝主査・近畿大学)

和田主査から開会の挨拶があり, 新型コロナウイルス感染の拡大に対する措置として今回初めてオンライン会議を企画したことが説明された. また, 今後も当面は同様のオンライン形式で本研究会を開催して行くことなどが説明された.

2) 新委員自己紹介 (全新委員)

今回から新たに研究会に参加した全委員から自己紹介があった.

3) フラッシュトーク (三目直登委員・筑波大学)

グラフニューラルネットワークについての紹介と, その応用事例を計算工学会論文集の特集号に投稿予定であることが紹介された.

4) 講演 (三好昭生幹事・株式会社インサイト)

「XGBoostを用いた回帰分析の仕方、サロゲートモデル作成の為に」というテーマで三好幹事による講演が行われた. 質疑応答では, 決定木の可読性は本当に高いのか, 決定木の導入し易さについての議論が行われた. また, XGBoostと他の手法と比較した結果についての質問があった. 最後に, 工学的な応用方法に関する質問があり, 形状最適化が一例だとの回答があった.

5) 学会活動報告 (和田義孝主査・近畿大学)

和田主査から、本年度は計算工学講演会, WCCM, 計算力学講演会などほぼ全ての学会が中止となっている状況と、当面は今回のようなオンライン会議しか実施が難しいのではないかとの説明があった。また、三好幹事から中止となった計算工学講演会の講演予定だった有志が集まりオンラインで講演会が開催出来ないかとの提案があった。

6) 今後の活動について (中林靖副主査・東洋大学)

中林福主査から第2回研究会でご案内した通り、日本計算工学論文集の特集号「機械学習の工学問題への適用」が現在投稿受付中であること、投稿締切は6月15日(月)で詳細は下記の通りとの報告があった。

Email: 日本計算工学会・ニュースレターNo. 518

Web: <https://www.jsces.org/newsletter/518.html>

7) 次回会合および事務連絡 (三好昭生幹事・株式会社インサイト)

次回開催について三好幹事より時期を早めて開催しようとの提案があり多数の賛同を得た。その結果、8月20日(木)、9月3日(木)、9月10日(木)を候補日としてメール等で改めて日程調整をすることとなった。

以上.